



運動会をとおして育てたい力

9月も連日厳しい残暑が続きました。熱中症指数が高すぎて外で遊べないことが多かったので、子どもたちは室内遊びをして過ごさざるを得ない日々が続きました。子どもたちの放課後は何かと忙しく、みんなで外で遊ぶ時間を楽しみに登校している子も多いことを考えますと、我慢して工夫して健気に過ごす姿は一人一人とても立派だったと思います。



その暑さもようやく落ち着き、いよいよ今週から運動会の練習が始まります。コロナの時期を乗り越えて、運動会だけではありませんが、私たちはこれまで慣例として行ってきたことを、改めてそれぞれの活動の目標に立ち返って再考してきました。

高砂小で、運動会をとおして育てたい力は「主体性と協働する力」です。それらを育てるためにどんな活動を行わせるか、どのように学ばせるかを議論してきました。ダンスであれば、教員から伝達されたものを単に覚えるという学習ではなく、子どもたちがテーマをどのように考えて集団での表現をするか。団体競技であれば、仲間とどのように関わり合い、互いに磨き合って楽しむか。これまでの反省やご意見をふまえつつ、低学年の体力や年間計画で配当した練習時間、そして取り組ませたい学習の過程を総合的に考え、本当に時間をかけたいことに指導時間をかけようと考えました。その結果、徒競走の並び方や走り方等の個人での学びよりも、学校でなければできない、ともに考え創り上げていく学びを大切にしようという職員の強い思いによって今年度の運動会は考えられています。

午前中開催となることや個人競技がないことなど、コロナ以前の運動会と比して、または他校と比べて、昨年度の高砂小の運動会に物足りなさを感じた保護者の方もいらっしゃったと聞いています。私はまだ、練習を含めた高砂小の運動会を見たことがありませんので、このことについて現時点で何とも言えませんが、代表委員会での「運動会をとおして高め合いたいこと」をクラスごとに考え実践していく取り組みは、育てたい力の育成に向けたよい手立てだと感じますし、運動会后、仲間同士の絆がより一層深まって次の活動に繋がっていけるのではないかと想像しています。改善すべきことは実施後に皆で意見を出して検討してまいります。保護者の皆様には職員の思いもご理解いただきつつ、改めてよい点悪い点併せて懇談会や個人面談などでお聞かせくださいますと大変有り難く思います。

学校教育目標

**心身共に健康で自ら考え、
正しく判断し、自主的で
創造性豊かな児童の育成**

めざす子ども像

た 他を思いやる子
か 体をきたえ安全に過ごせる子
す 進んで学び深く考える子
な 仲良く力を合わせ最後までやりぬく子

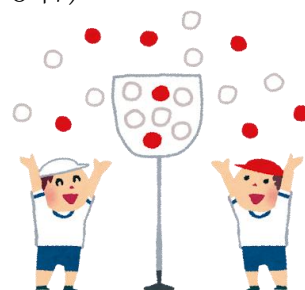
教室転用について

市教委の推計によりますと、来年度は児童数が増え、多い場合は教室が2つ不足する予測となっております。その場合、光のひろばと図工室を教室に転用する可能性があります。

10月の主な行事予定

- 1日(火) 朝会(創立60周年講話) テストメール
- 2日(水) 委員会活動
- 7日(月) 一斉下校
- 9日(水) クラブ活動
- 10日(木) 教員研修のため4校時放課
- 11日(金) PTA第2回定期総会(書面)
- 15日(火) 朝会(音楽) 6年運動会係活動②
- 16日(水) 運動会全校練習①
- 18日(金) 市小学校・特別支援学校音楽会(4-3参加)
- 19日(土) 高砂地区レクリエーション大会(予備日20日)
- 22日(火) 運動会全校練習② 就学時健診13:20~
- 25日(金) 6年運動会係活動③
- 26日(土) 運動会(雨天順延)
- 28日(月) 運動会代休
- 29日(火) 6年運動会係活動④
- 31日(木) 代表委員会 9月分給食費口座振替日

藤沢市総合かがく展
17日(木)~23日(水)
湘南台文化センターにて



※詳しくは各学年だよりでご確認ください。

10月からは、防災無線から流れる『夕焼け小焼け』のチャイムが午後4時半に鳴ります。これからさらに日が短くなってきます。暗くなると、交通事故や不審者等の心配もあります。遊びに出かける際は早めに帰宅するようにご家庭でもご指導ください。



連絡メールシステムの移行について

現在使用している連絡メールシステム「すぐめる」(visor社)は、令和7年3月末日をもちましてサービス終了となりました。サービスが終了する前に、同社の後継アプリツールである「すぐーる」に移行していただくこととなります。今後は11月ごろ、「登録手順書」と「子どもID通知書」を配付しますので、「すぐーる」アプリをインストールして各ご家庭で登録を進めていただき、可能な段階で「すぐめる」からの切り替えをしたいと考えています。その頃になりましたら、再度お知らせをさせていただきますがご承知おきください。

道の歩き方について

学校の西側方面の通学路変更は比較的交通量が少ない道になったので少し安全になったかと思いますが、車の通行がほぼなくて気が抜けてしまうせいか、道の真ん中を歩いてしまう児童がまだ見られます。車は少なくとも自転車やバイクは通っています。この場所に限らずどこでも同じですが、安全と他者の通行の妨げにならないよう、学校でも道は端を歩くよう日常的に指導していますが、ご家庭でも同様にご指導ください。

とうげこう おしゃべりはみだし あぶないよ

交通安全スローガン 平成30年 文部科学大臣賞



文部科学大臣メッセージ

～子供たちのための学校の働き方改革 できることを直ちに、一緒に～

学校における働き方改革「元年」と言える2019年から約4年、皆様のご尽力のおかげで、教員勤務実態調査では在校等時間が減少しましたが、依然として長時間勤務の教師が多い実態も明らかになっています。この改革の目的は、働き方の改善により教師が学ぶ時間を確保し自らの授業を磨くこと等を通じて、子供たちにより良い教育を存分に行うことができるようにすることです。今後は、2024年度からの3年間を集中改革期間とし、政府全体として質の高い公教育の再生に向け、働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実を一体的に進めていきますが、教師を取り巻く環境をより良いものとするには待ったなしであるため、直ちにできることに、文部科学大臣としてメッセージをお伝えします。

1. 国が先頭に立って改革を進めます

教師を取り巻く環境整備の加速化に向け、これまで以上に力強く教育予算を確保します。教師の処遇については、約50年ぶりの抜本的改善に向け今後議論を深めていきますが、今からすぐ取り組めることとして、大幅な教職員定数の改善や支援スタッフの大胆な配置充実、教師のなり手の確保に向けた取組を進めます。

また、国・地方自治体・各学校が行う業務の精選・見直しを国が率先して示します。今回の中央教育審議会の提言でも、学校行事の真に必要なものへの精選・見直し、登校時間の見直し等が例示されています。「やめようと思っても、様々な理由によりやめられない」との声は私にも届いていますが、働き方改革そしてその先のより良い教育につながる取組は、文部科学省として全力で応援しますので、このメッセージを業務改善に向けた旗印としてご活用ください。

2. 学校・教育委員会は、できることは直ちに実行を

働き方改革は国だけでは進みません。改めて、一人一人の教師の勤務時間管理及び健康管理、業務分担の見直し等の責任を有しているのは各校長でありサービスを監督する各教育委員会であるということ、すべての校長先生及び教育長の方々にご確認いただきたいと思えます。これまでの取組で効果の見られた好事例は相当蓄積されており、徹底した実行に移すべき時です。提言では、例えば、標準授業時数を大幅に上回っている教育課程編成の見直しをはじめ各主体において求められる対応が整理されておりますので、各学校の課題を踏まえ、今からできることは直ちに着手いただきますよう、お願いします。

3. 保護者・地域住民の皆様へ

デジタル化の進展など急激に変化する時代の中で、今学校は、子供たちが主体的で創造力豊かに次代を生きる力を育てるため、教育の質の向上に取り組んでいます。教師が教師でなければできない業務に集中してこの課題を達成するため、学校・家庭・地域の連携分担や学校の働き方改革が必要であり、皆様の力がこれまで以上に求められています。更なる連携・協働のためには、国や地方自治体がメッセージを発するとともに、学校が保護者・地域住民の皆様とより積極的にコミュニケーションを図ることが必要です。その際、業務の優先順位を踏まえた思い切った精選・見直しや教師と保護者・地域住民の皆様との役割分担の見直し等の相談についても、ご理解とご支援をいただければ幸いです。

令和5年(2023年)8月29日

文部科学大臣 永岡 桂子